

## 上御堂

西院の小さな丘の中腹に建つこの寺院は、鎌倉時代（1185～1333）の再建である。台風で989年に崩壊した元の建物の建立を発願したのは、天武天皇（631-686）の息子である舎人親王（676-735）であろうと考えられている。お堂の内部には、国宝に指定された平安時代の釈迦如来像と、その脇侍の文殊菩薩と普賢菩薩の像が安置され、四隅には室町時代（1136-1573）の四天王像がある。このお堂とその宝物は、毎年11月1日から3日まで見ることができる。